

令和7年度
中野区教育行政に関する点検及び評価
(令和6年度分) の結果に関する報告書
【概要版】

中野区教育委員会

実施の概要

- 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。
- 点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条)

実施の目的

- 効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに区民への説明責任を果たし、区民に信頼される教育行政を推進します。
- 令和5年5月に策定した中野区教育ビジョン（第4次）の点検・評価についても、この教育事務の点検・評価と一体的に実施します。

中野区教育ビジョン（第4次）

「子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む教育」の実現に向けて、様々な教育課題に的確に対応するため、中野区教育委員会が策定した教育理念です。中野区ホームページにて公表しています。

実施方法

中野区教育ビジョン（第4次）の各目標に定められた指標について、自己評価シートを作成



中野区教育ビジョン（第4次）の「教育理念を実現するための視点」及び前年度に外部評価委員より意見のあった事項等から重点項目を設定（令和7年度は5項目を設定）



設定した各重点項目について、実施内容や成果、今後の取組の方向性等についてまとめた重点項目シートを作成



外部評価委員会を設置し、主に各重点項目について外部の学識経験者による点検・評価を実施

外部評価委員会

●外部評価委員（敬称略、五十音順）

- ・阿内 春生 早稲田大学教育・総合科学学術院准教授
- ・和泉 徹彦 嘉悦大学経営経済学部教授
- ・小宮山 郁子 目白大学人間学部児童教育学科教授

●外部評価委員会日程（全4回）

【第1回】令和7年7月23日

【第3回】令和7年 8月29日

【第2回】令和7年8月 4日

【第4回】令和7年10月17日

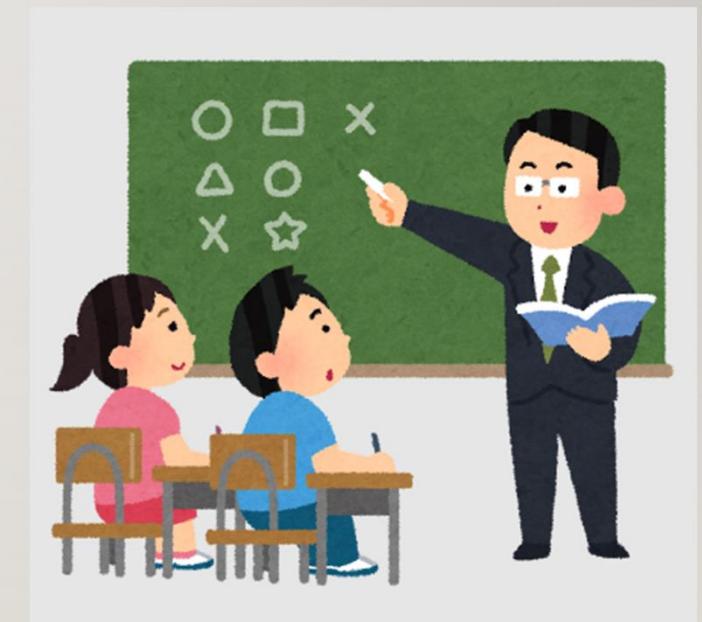
外部評価による評価・改善

重点項目①確かな学力の定着（知）／教員の授業力向上

●区の学力調査結果の分析を行い、学力の定着・授業力向上に向けた授業改善の取組の成果が上がってきている。各学校が結果分析を適切に行い、自分の学校で生かしていくための支援を教育委員会がさらにリードしていってほしい。

区の学力調査

「中野区学力に関する調査」として平成16年度から実施しています。調査結果については、毎年教育委員会にて報告しており、中野区ホームページにてご覧いただけます。



外部評価による評価・改善

重点項目②豊かな心を育む教育の充実（徳）

- 「子どもを主体とした教育活動」の一環として、児童・生徒が主体的に学校予算の使い道を決定する取組は、子どもの意見表明を体現する取組として評価できる。今後は子どもの様々な意見を反映した取組をより一層実現できるよう、予算の使途を広げていけるとよい。

子どもの意見を反映させた教育活動

生徒会や代表委員会等を中心に活動の内容を企画し、様々なゲストを招いた講演会や体験教室、コンサート等を実施しています。



生徒会の様子



講演会の様子

外部評価による評価・改善

重点項目③体力・運動意欲の向上（体）／健康の保持増進

●中野区は保育園・幼稚園、小学校、中学校の連携教育に永く取り組んでいる点が評価できる一方で、幼児期の教育から児童期の教育にかけての内容の接続に課題が見られる。双方が内容の理解を深め、その接続を意識して取り組んでもらいたい。

中野区の連携教育（一例）

- ・保育園と幼稚園と小学校との連絡協議会の開催
- ・「中野区就学前教育プログラム改訂版（理論編）と（実践編）」の作成及び現場での活用
- ・就学前教育・保育施設職員向け合同研究の実施
- ・中野区連携教育通信の発行
- ・「運動遊びプログラム」の普及



保育園と幼稚園と小学校との連絡協議会の様子

外部評価による評価・改善

重点項目④いじめ対策及び不登校傾向の児童・生徒の支援強化

- 不登校児童・生徒のうち、関係機関につながっており教育機会が確保されている児童とそうでない児童・生徒の状況について、教育委員会が把握できている点は評価できる。教育機会が確保できていない児童・生徒とその保護者に対する支援にさらにきめ細かく取り組んでもらいたい。
- 中野区には子どもオンブズマンへの相談窓口があり、教育現場と連携して成果を上げている。このほかにも困った時に相談できる大人が身近にたくさんいることや、どのような方法で相談すればよいかといったことについて、小学校低学年のうちから教育活動の中で教えたり周知をしたりしていってほしい。

中野区子どもオンブズマン

子どもの意見を尊重しその権利を守りながら、一緒に問題を解決するために必要な助言や支援を行います。中野区ホームページにて概要や相談窓口等をご覧いただけます。

外部評価による評価・改善

重点項目⑤外国語活動・英語教育の充実

- 英語教育の充実としてALTの活用を拡大し、授業以外で、学校の休み時間や給食時間等の身近な場面でも児童・生徒と関わることができる環境を整えた取組は、言語の習得だけでなく文化等の国際理解にもつながる効果的な活用といえる。
- 近年、外国にルーツのある児童・生徒が増えつつある中で、母国語が英語ではない児童・生徒も多い。英語に偏りすぎず、様々な文化や生活も含め、幅広い形で学べる環境を作っていくとよい。

英語による積極的なコミュニケーションの機会確保の取組（一例）

- ・TOKYO GLOBAL GATEWAYでの体験活動
- ・イングリッシュキャンプ



TOKYO GLOBAL GATEWAYでの体験活動の様子



イングリッシュキャンプの様子

今後の課題

●外部への発信

特色ある様々な取組を実践している中で、その取組や成果を保護者や区民等、関係者以外に対して分かりやすく発信するといった点が十分ではない。積極的に発信するとともに、発信する文書については専門用語の記載を可能な限り控える等、区民にとって分かりやすい内容とすること。

●成果指標

数値としてあらわすことができるものと、それが難しいものとがある中で、指標の設定や記載が曖昧になっている部分がみられる。毎年の評価がその後の教育行政に着実に生かしていくよう、成果指標を分かりやすく整理した表記にできるといい。

今後の課題

●他分野の事業との接合

教育と関連深い福祉等の他分野の事業と教育行政の接合に課題がある。今回の評価項目の中で一定の前進がみられるが、引き続きその接合を意識して取り組むこと。

●教員の働き方

部活動の地域展開をはじめ、業務改善及び業務の効率化等、教員の負担軽減につながる取組が求められている他自治体で成果を上げている事例を踏まえつつ、中野区の実態や状況に合わせ、様々な観点から教員の働き方改革を検討し進めていくこと。